

再稼動許すな！

放射能から子どもたちを守れ！

福島大生と共に

() 9月19日 明治公園での反原発6万人集会の先頭に立つ福島の方々

() 10月21日 福島大学での全国学生集会の様子

11.6 日比谷へ！

全国学生集会の様子 (10月21日、福島大)

だから11・6に来てほしい！

安全なキャンパスを取り戻そう！

教育を受けるために被爆させられる現実を変え、仲間を放射能から守りたい！ 安全に学べる教育環境を！

福島大の学生とつながり、共に立ち上がろう！

大学を去っていく仲間。新たに迎える後輩が減る。悔しさや憤りの中にある福島大生と共に新たな運動を！

再稼動を狙う野田政権を倒そう！

すべては原発再稼動のため。原発は即時廃止しかない！
再稼動狙う政権なんて倒すしかない！

福島、世界と団結しよう！

11月6日は福島、世界から続々と仲間が集まります！

11・6 日比谷に 福島大生も集まる！

11/6 もう黙ってられない！ 今こそ声をあげよう！！ 反原発一万人大デモへ！！

11月6日(日) 正午@東京日比谷野外音楽堂 (10:00~ 前段企画 青年学生反原発大集会)

全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

TEL 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

福島から 11・6へのアピール

子どもたちを放射能から守れ！ 許すな原発再稼働！
震災解雇・非正規雇用化反対！

11・6全国労働者総決起集会を成功させ、全国の
たたかう労働者の団結で、ただちに原発を止めよう！

9月19日、明治公園は「原発を今すぐなくせ！」という思いで
集まった6万人もの人々であふれました。福島県内からは、1千
人の行列となってひとつに合流し、全体の先頭に立ちました。子
どもたちを放射能から守る福島ネットワークの用意した『怒』の
ノボリ旗の下、初めてデモに参加したたくさんの母親、父親たち。
全県から170名の結集を実現した福島県教組。「子どもの命を
守れ」という、いてもたってもいられない思いが、これまでの労
働組合や政党の枠組みを越えて、一人一人の深い深い怒りをあら
わした6万人という大きな力となったのです。

野田政権は、このフクシマの怒りに恐怖し、「事故の収束」
と『復興』を必死にキャンペーンし、あくまで原発再稼働を狙っ
ています。9月30日には、「事故の収束」と「安全」を装うため
に、福島原発から20*₀~30*₀圏の緊急時避難準備区域の解除だけ
が行われました。

私たちは、こうした動きに危機感をもち、9・19の6万人の力
をさらに大きく拡大していく立場から、11月6日に日比谷野外音
楽堂で開催される『反原発・反失業 11・6全国労働者総決起集
会』への、結集をよびかけるものです。それは、全国の労働組合
が団結して政府と闘えば、原発は止められるし、放射能汚染から
子どもたちを守ることも、労働者、農漁民、市民の生活を守るこ

ともできるからです。

常磐線の広野駅までの運転再開と放射能に汚染された車両の検
修を拒否して、地元いわき市に支部があるJRの労働組合・動労水
戸がストライキに決起しました。労働組合が、労働者の命、地域
住民の命を守るためにストライキで闘っています。動労千葉は、
ストライキで職場の外注化を阻止しています。それは大資本優先、
労働者切り捨ての社会を労働組合の力で変革する闘いです。

3月11日の震災以降、被災地でも団結して生きることの大切さ
を本当に痛感しています。農林漁業者も、市民も学生も一緒になっ
て、再稼働阻止！ すべての原発をいまずぐ止めよう！ すべて
の原発を廃炉にしよう！ とともに闘いましょう。

現在の「労働運動不在」とも言えるような状況や、失業と膨大
な非正規職化は、1987年の国鉄（現JR）分割・民営化から始
まっています。『新自由主義』といわれる政策のもと、解雇撤回
を闘う労働組合が弾圧され、地方や農業が切り捨てられるととも
に、非正規労働者による被曝労働抜きには一日も成り立たない原
発が大量に増設されていったのもこの頃からです。

3・11の大震災と福島第一原発事故は、こうした社会のあり方
が間違いであったことを誰の目にも明らかにしました。「社会を
変えなくてはならない。そのためには労働組合が変わらなくては
ならない」。9・19に集まった多くの労働者の思いです。今がそ
のチャンスです。自分たちの行動で未来を選択するために、あら
ゆる立場の違いを越えて、広く広く闘いをつなげましょう！

清野和彦（福島県教組元執行委員長）

橋本光一（国労郡山工場支部書記長）

佐藤幸子（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク世話人）

中手聖一（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク）

鈴木光一郎（酪農家）

市川潤子（ふくしま合同労組委員長）

渡辺馨（福島県労働組合交流センター代表）

国境を越え世界の仲間が集まる！



解雇・組合破壊に
対し、歴史的な大
闘争を闘うアメリ
カ港湾労組を代表
し、Local21コフ
マン委員長が集会
に参加・発言！
(写真：9/7、Local21を
先頭に列車運行を実力阻
止して闘う組合員たち)



原発稼働延
長を阻止し
たドイツか
らも参加！
(写真：3・11
直後、ゴアレ
ーベンで行なわ
れた福島連帯・核
施設廃止のデモ)

世界で最も戦闘的な組合、韓国・
民主労総から数十人で参加！



トルコで日本の反原
発署名を開始！1万2
千筆の署名が送られ
ています！

ドイツの反原発運動から福島へのメッセージより

反人間的な原子力に対する私たちの闘いに国境はありませ
ん。私たちの要求は明確です。すべての原子力施設を全
世界的に直ちに止めよ、です

UTLA（ロサンゼルス統一教組）の賛同メッセージ

私たちは国際的な共通の闘いの中にあります。...人々が
至る所で立ち上がりだしました。私たちは99%であるとい
う事実、今この時を掴み新たな社会を建設できる多数派で
あるという事実を抱きしめています。この精神でUTLAIは、1
1・6労働者国際連帯集会とともに立ちます。...私たちはそ
の時が来たことを確信し、今まで以上に、強く団結し共に
立ち上がります。労働者、子どもたち、教育者とすべての
人民は、団結して立ち上がりましょう。